

令和3年度福岡県高等学校

ヨット競技新人大会

レース公示 (実施要項)



2021

期 日	令和3年10月30日(土)・31日(日)
場 所	福岡市西区小戸ヨットハーバー
共同主催	福岡県高等学校体育連盟 福岡県教育委員会 福岡県セーリング連盟
後 援	(公財)福岡県スポーツ協会 福岡市教育委員会・西日本新聞社 福岡市ヨットハーバー&ビーチ管理運営共同事業体
運営主体	福岡県高等学校体育連盟ヨット専門部

レース公示

略語

「NP」艇による抗議の根拠とならないことを意味する。これは規則 60.1(a)を変更している。

1. 期日・会場等

開会式・閉会式は行わない。(表彰式は対象者のみで行う。)

(1) 競技

日 時 令和3年10月31日(日)
会 場 福岡市立小戸ヨットハーバー沖 今津湾内
運営本部 小戸ヨットハーバー セーリングハウス2F

(2) 競技種目

【420級】 男女 ソロ競技
【FJ級】 男女 ソロ競技
【シングルハンダー級】 男女 ソロ競技(レーザーラジアル・シーホッパーSR)

(3) 大会日程

月 日	時 刻	内 容
10/30 (土)	15:00～ 15:15～ 16:00～	受付(セーリングハウス1F) 計測(各校バース) 競技運営説明会(セーリングハウス前)
10/31 (日)	08:30～ 09:55 引き続き	ブリーフィング(セーリングハウス前) 最初のクラスの第1レーススタート予告信号 予定時刻 最大3レースを予定

- ① 天候その他の事情により、競技の日程・時刻を変更する事がある。その場合、発行する前日の18:00までに各校に通知する。
- ② 原則的にスタートは男女420級、男女FJ級、男女シングルハンダー級の順に行う。但し、レースの進行上、レース委員会はスタート順を変更する場合がある。
- ③ 10/31は15:30を超えて予告信号が発せられることはない。

2. 競技規則・方法

(1) 競技規則

- ① 本大会は、『セーリング競技規則2021～2024年』(以下RRSという)に定義された『規則』を適用する。
- ② RRS42条違反に対し、付則Pを以下のように変更して適用する
「付則P2.3は適用されず、『3回目以降のペナルティーにもP2.2が適用される』とする。」
- ③ RRS付則Tを適用する。
- ④ 当該クラスルールを適用する。

(2) 競技方法

- ① レースは種目別に3レースを行う。各種目でレースが1回以上成立すれば該当する種目は成立する。
- ② 競技の得点は、全てのレースの得点の合計とする。
- ③ 420級、FJ級は1艇4名以内の選手登録で1チームを構成し、シングルハンダー級は1艇1名以内の選手登録で1チームを構成する。420級、FJ級におけるチーム内でのレースごとのスキッパー、クルーの分担は任意である。なお選手登録後の変更は原則として認めない。
- ④ 順位は種目ごとに決定する。
- ⑤ 本大会のプロテスト委員会は競技規則91(a)による。
- ⑥ 使用するセール番号は参加申込時に登録する。それ以降の変更は原則として認めない。また、同一のセール番号を複数の艇に使用することはできない。
- ⑦ レース委員会は、FJ級に対しアンカー・アンカーロープの搭載を指示することがある。

3. 帆走指示書

帆走指示書は、受付時に配布する。また、配布以前に福岡県高等学校体育連盟ホームページにてダウンロードすることにより入手することができる。

4. コミュニケーション

- (1) 公式掲示板はセーリングハウス前に設置される。
- (2) LINE オープンチャット【下記QRコードより参加】により情報を展開する。ただし、これは参考情報であり、正式な情報は公式掲示板を確認すること。



(3) 【DP】 レース中、緊急の場合を除き艇は音声やデータを送信してはならず、かつすべての艇が利用できない音声やデータ通信をしてはならない。この制限はモバイル・フォンにも適用される。

5. 【DP】 【NP】 計測

- (1) 420級・FJ級においては、受付時に有効な計測証明書のコピーを提出すること。また、使用する艇体とセールナンバーが異なる場合、その旨を受付時に申し出ること。なお、メインセールとスピナーカーのナンバーの不一致は問わない。
- (2) 使用するセールは基本計測が完了していること。
- (3) 艇または装備は、RRS78.1に適合していることを確認するために、いつでも検査されることがある。
- (4) テクニカル委員会はRRS92に従い任命される

6. 引率・監督について

- (1) 出場校は必ず引率責任者が付き添わなければならない。引率責任者は監督を兼ねることができ、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。個人の場合は、校長の認める当該校又は他の学校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（地方公務員法第22条の2に示された者）又は校長とする。
- (3) 監督は各チーム1名とし、大会中の変更は認めない。
- (4) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部の者（非常勤講師、スポーツクラブ指導者、社会体育指導者、当該校の卒業生・保護者）である場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

7. 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、福岡県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、レース公示（実施要項）にて参加資格を得た者であること。
- (3) 2021年度（公財）日本セーリング連盟会員登録を完了した者であること。
- (4) 年齢は2003（平成15）年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場回数は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし一家転住等やむを得ない場合は、ヨット専門委員会で調査し、高体連会長の承認があればこの限りではない。
- (8) 参加選手は、健康診断の結果異常が認められない者で、在学する学校長の参加申込みを必要とする。
- (9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟・九州高等学校体育連盟大会開催基準要項の参加資格に準ずる。
- (10) 参加資格の特例
 - ア. 上記(1)(2)に定める生徒以外、(3)～(9)の大会参加資格を満たし、かつ本連盟が承認した生徒については、別途に定める規定に従い、大会参加を認める。
 - イ. 上記(4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技2回限りとする。
 - ウ. 学年の区分が設けてある課程に在籍する生徒の出場は2学年までとする。

8. 新型コロナウイルス等感染拡大防止対策

(1)参加するすべての高校生（補欠また補助員を含む）は、大会の2週間前より検温や体調の記録をとり、健康管理チェックシートに記入すること。また、大会参加同意書を提出しなければならない。各校の監督・顧問は、健康管理チェックシートならびに参加同意書を取りまとめ大会当日に運営本部へ提出すること。健康管理チェックシートは各校顧問が保管することとし、運営本部が提出を求めた際には速やかに提出すること。

(2)参加するすべての高校生（補欠また補助員を含む）は、大会当日の朝に監督・顧問の指示のもと検温を受けなければならない。各校の監督・顧問は、検温の結果を運営本部へ報告しなければならない。検温の結果、体温が37.5℃を超える者については大会への参加を認めない。

(3)ヨットハーバーが定めた利用に関するルールを厳守すること。ヨットハーバー内ではマスクを着用し、準備や片付け等の間においても選手同士などで十分な距離を保てない場合においてはマスクを着用すること。競技中または人と人との距離が十分に確保できる場合はこの限りではない。

(5)こまめな手洗いと消毒をすること。

(7)大会中は大声での会話や、応援等は行わないこと。

9. 大会中止等の条件

下記の理由等により、大会が中止・延期となる場合がある。

(1)天災等により会場地の使用が不能となった場合。

(2)新型コロナウイルス等の感染拡大防止対策で、行政機関より大会中止・延期を指示または勧告された場合。

(3)大会開始後、参加者が新型コロナウイルス感染症への感染が判明した場合。

10. 参加制限

(1)1校当たりのエントリー艇数の制限は設けない。

(2)艇ごとに選手登録を行い、複数の艇に同一選手を登録することはできない。

(3)引率責任者・監督が付き添わないチームは出場を認めない。

11. 【DP】【NP】安全規定

(1)個人用浮揚用具(ライフジャケット)については、RRS40.2(b)を適用する。クラス規則により規定された場合を除き、個人用浮揚用具はISO 12404-5、レベル50又は同等以上の浮力を要しなければならない。

(2)艇は自らの安全のためにマストトップに浮力体を取り付けることができる。

420級についてはRRS87及び、クラス規則、RRSA.8.2に基づき、420クラス規則C.5.1aに以下の文を追加する。

「自らの安全のために、マストトップに揚力を起こさない形状の浮力体を取り付けることができる。」

(3)レーザーラジアル級のバウラインについては、その一端をバウアイに結びつけておかなければならない。

12. 【NP】【DP】 支援者艇

- (1) 支援者艇は受付時に運営本部にて登録をしなければならない。
- (2) 援者艇は、レース委員会が支給する緑色旗を掲揚しなければならない。
- (3) 支援者艇は、帆走指示書で指示する項目に従わなければならない。

13. 参加申込

- (1) 申込期限：令和3年10月27日(水) 必着
- (2) 申込先：〒819-0162 福岡市西区今宿青木 1042-33
中村学園三陽高等学校 福岡県高体連ヨット専門委員長 池田 隼貴 宛
TEL：092-882-6611 FAX：092-882-4387
- (3) データ申込先
下記 email アドレスまで送付して下さい。
送付先アドレス：ikeda@nakamura-sanyo.ed.jp
- (4) 高体連の参加申込に記載される生徒個人情報について
 - ① 利用目的等・大会プログラムまたは福岡県高体連ホームページへの掲載
 - ・参加資格の確認(年齢、転校等)
 - ・競技成績については学校名・氏名・成績(記録)のみ公表する事とする。
 - ② 参加申込書の提出により、申込書記載の生徒の個人情報は、上記利用的に使用する旨の承諾を得たものとする。

14. 参加負担金

1人500円を徴収する。【後日、高体連事務局がとりまとめて各校から徴収】

15. 表彰

男女の各種目別に3位まで賞状を授与する。

16. レースエリア及びコース

レースエリアは今津湾内(添付図A参照)とし、コースはソーセージ・コースとする。(添付図B参照)

17. リスク・ステートメント

RRS3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任はその艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリング競技に内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な障害、死亡のリスクである。

添付図 A レースエリア



添付図 B コース図

〈風上・風下コース〉

LR2: Start→1→1`→4s/4p→1→1`→4p→Finish

